

令和3年度

全中道研 会報

No. 3 令和3年12月24日

全日本中学校道德教育研究会



令和3年度 全日本中学校道德教育研究会

会長 吉田 修

早いものでもう師走となりました。コロナも落ち着き、教育活動も以前の活動を取り戻しつつあります。全中道研理事並びに関係者の皆様の学校におかれましてもコロナウイルス感染対策を講じながら、安全・安心に気を付け学校経営を行っていることとお察しいたします。

さて、全中道研の今年一年の取組として真っ先に皆様にお伝えすべきこととして「全中道研 沖縄大会」を成功裏に終えたことに尽きるといえます。

コロナ禍で行う研究大会は全中道研として初めての試みでした。それ故、実際に大会を運営する沖縄県友寄会長、上江洲実行委員長のご苦労は計り知れないことだったと思います。その努力が報われるように全中道研としてもできる限り誠意を尽くしバックアップしたところです。全国大会に備えた打ち合わせを重ね、調整を図り、コロナ禍での大会実現に向け一步一步進んでまいりました。そしてホームページ上での開催に至りました。

ホームページ上の開催が決定したあとも、大会実現に向けて協力していただきました各都道府県の役員をはじめとする関係者の皆様にも多大なるご協力をいただき、全中道研沖縄大会を成功に導くことができました。

また、日頃から道德教育の発展にご理解ご支援いただいている上廣倫理財団、石橋財団におかれましても心から感謝申し上げます。

沖縄大会実現に向け、並々ならぬ努力がありました。今まで以上に綿密な打ち合わせを入念に行い、全中道研としても沖縄県と協力して成功に導こうという決意のもと進めてまいりました。初の試みということもあり、紆余曲折しながら大会当日を迎え、長期間の大会も無事閉会を迎えることになりました。

コロナ禍でも研究の灯を消すことなく繋げていくという地域どうしの絆の深まりを感じた一年でした。そして、今まで全中道研を支え、発展に寄与していただいた諸先輩方と現在活躍されている地区の皆様とが繋がり、今後の全中道研がさらに発展することを確認できました。

困難を乗り越えるために関係者の英知を寄せ合い克服し、沖縄大会を実現し、達成した喜びは意義深く感慨ひとしおでした。令和4年度の山形大会への足掛かりになったと思います。全中道研の心意気は今後も尽きることなく発展し続けることでしょう。

最後になりますが、地区の推薦を受け全中道研の発展に尽くしていただいた6名の方々に全中道研から感謝の意を表し功労賞を送らせていただいたことをご報告いたします。今後も全中道研発展のためにご指導をお願い申し上げます。



全中道研沖縄大会報告

沖縄大会実行委員長 上江洲 毅

1 大会主題

「豊かな心をもち、共によりよく生きる力を育む道德教育の展開」

～主題に迫る発問を通した道德科の授業づくり～

2 期間 令和3年11月11日～11月30日
(ネット配信は12月10日まで)

3 授業動画配信(那覇市立首里中学校)

1年 主題名「公平とは何か」

授業者 久高 陵太郎 教諭

2年 主題名「思いやりへの感謝」

授業者 川上 悠 教諭

3年 主題名「思いやりの心を考える」

授業者 又吉 真奈美 教諭

4 課題別分科会の提案者

○第1分科会 道德科の指導の工夫

「現代的な課題に関する学習と

その授業展開」

北海道恵庭市立恵明中学校

教諭 西川 博康

「生徒が多面的・多角的に考えられる

効果的なICT活用」

東京都渋谷区立渋谷本町学園中学校

主任教諭 福守 久子

「豊かな心を通し、他者と共に

よりよく生きようとする生徒の育成」

千葉県浦安市立日の出中学校

教諭 小山内 周平

「多様な価値観を認め、豊かに関わり合う

ことを通して道德性を育む授業」

静岡県静岡市立清水第八中学校

教諭 渡辺 剛史

「自己を見つめ、よりよく生きようとする

生徒の育成」

高知県南国市立北陵中学校

教諭 森田 浩章

「豊かな心をもち、夢や未来を拓く力を

はぐくむ道德教育」

福岡県那珂川市立那珂川南中学校

教諭 中川 美香

「よりよく生きようとする生徒の育成を目

指した「考え、議論する道德」の授業」

熊本県熊本市立託麻中学校

教諭 土山 直子

○第2分科会

道德教育を推進する指導体制のあり方
「全教師が行う『全校道德』と『オリジナル
道德ノート』を軸とした道德教育推進の在り
方」

青森県八戸市立豊崎中学校

教諭 葛西 良子

「よりよく生きようとする意志や能力を

育む道德教育の充実」

奈良県香芝市立香芝中学校

校長 関川 圭造

「生徒の実態に向き合い、未来をよりよく

生きる力の育成」

広島県三原市立大和中学校

教諭 上野 華代

『考え、議論する』道德に向けた

取り組み」

大分県大分市立大分西中学校

指導教諭 高橋 哲也

「自己を見つめ、人間としての生き方に

ついての考えを深める生徒の育成」

沖縄県浦添市立仲西中学校

教諭 棚原 千佳子

5 指導講話

演題「考え、議論する」道德科の授業を目
指して

講師 文部科学省初等中等教育局教育課程

課教科調査官 飯塚 秀彦 様

6 大会を終えての感想

令和2年8月、沖縄大会の開催は困難であると判断し、大会中止を全中道研事務局へ申し入れました。しかしながら道德教育研究を止めずに工夫をしながら前に進めていきたいとする全中道研事務局の熱い思いに後押しされ、Web上での開催を提案してもらいました。そして12月、第1回の検討会をZoomで行い、全中道研事務局から大会スケジュールや分科会の精選案、参加登録方法など、中核部分を提示していただきました。そのおかげで沖縄県は授業動画の撮影に専念できました。

動画の撮影に当たって一番気がかりなのは授業動画のクオリティーと著作権や肖像権へ

の配慮でした。授業公開に向けて、教材研究や検証授業を行ってきた首里中学校の先生と生徒の様子を全国の先生方へクリアに配信するにはどうするか、特に、教師の問いかけや生徒の発言などの音声を録音するには手持ちのビデオカメラでは無理があると判断し、苦慮していました。幸い、全中道研や九道研のご配慮で助成金が増額使用できることとなりプロの業者に依頼してビデオ撮影・編集の目的が立ったことに、とても安堵しました。

分科会については、全国の提案者及び指導助言者の先生方とメールでやり取りし、滞りなく、Web上で発表ができたことをうれしく思います。

今回のWeb開催に当たり、全中道研のホームページの管理を一手に引き受け運営に携わっていただいた事務局長の月田先生には大変お世話になりました。また、本大会の進捗を常に気に掛け激励の言葉をいただいた会長の吉田先生や前会長の菅野先生にも心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

副会長会及び役員・理事会報告

副会長会及び役員・理事会（第2回）を、11月27日（土）にオンラインで実施しました。

○ 各ブロックの状況

・北海道

11月14日にHPとオンラインを併用して開催した。

・東北

今年度は当初から開催計画がない。

・関東甲信越

10月22日に人数を制約し、公開授業、分科会提案等を学校等で行うとともにオンラインでも実施した。

・東京

令和3年2月に研究発表大会を開催。公開授業、研究発表、指導講和を学校参集型で実施予定である。

・東海北陸

今年度は当初から開催計画がない。

・近畿（京都大会）

11月24日から26日にHPとオンラインを併用して開催した。

・中国（山口大会）

11月19日から12月17日にHPで開催しているところである。

・四国（高知大会）

公開授業を収録しHPに掲載し、基調提案・会場校発表・記念講演は参加者を限定して半日開催という形で実施予定である。

・九州（沖縄大会）

全国大会としてHPで実施した。

役員・理事会では、会長やご来賓の挨拶の後、沖縄大会の報告が行われました（前ページ参照）。その後、次の内容について確認しました。

○ 今後の大会について

・令和4年度 山形大会

昨年度、理事会でWeb開催ということでお願いし、ご了承いただいた。沖縄大会を見て、webでの開催というのがどういう形になるのか良さがあったり課題があったりいろいろなイメージをすることができた。来年度、時期は11月中旬から下旬ということで計画している。2月の全中道研理事会で、具体的な提案をさせていただく。

・令和5年度 北海道（函館）大会

日程は11月1日（水）・2日（木）で設定している。会場・主な内容は、1日目は函館市内の小・中学校での授業公開・授業分科会・課題別分科会を行う予定である。2日目は函館市民会館で開会式・指導講話・閉会行事を午前中に行うコンパクトな形での計画を検討している。

・令和6年度 神奈川大会

今年度、準備委員会を立ち上げ、少しずつ準備を始めている。川崎市を会場として実施したいと思っている。

・令和7年度 岐阜大会

岐阜地区で開催予定、今後詰めていく。

・令和8年度 東京大会

東京大会は市部での開催を予定している。

具体的なことについてはこれから進める。

○ 功労者及び感謝状について

令和3年度は、6名の方が推薦され、この役員・理事会で承認していただいた。この後記念品と賞状を送付する。

また、コロナ禍という厳しい状況の中で、Web開催という新しい形での大会運営をしていただいた沖縄県の関係者3名の方に感謝状を贈ることとなった。

○ その他

・研究大会に対する祝電については10月開催の3地区から申請があり対応した。

・実践事例集第9集について

令和4年度に発行する第9集は、令和3・4年度の取組を集録することになっている。各ブロックから1事例の原稿をいただき、10月頃に入稿する予定でいるので、よろしくお願ひしたい。

ブロック大会北海道大会報告

北海道道德教育研究会事務局長 荒川 芳央

○期間 令和3年11月8日(月)

～11月26日(金) (HP公開期間)

令和3年11月14日(日) 講演会

○方法 北海道ホームページでの公開・オンラインでの開閉会式・講演会の開催

○内容

大会主題 『主体的に学び合う児童・生徒の育成』

副主題 「心に響く道德授業とその質を高めるための研修のあり方」

<指導案発表>

伊達市立伊達小学校

1年主題名「ともだちのことをかんがえて」

内容項目B(9)

「二つのことり」 安宅晃紀教諭

2年「だにたいしても」C(11)

「雨ふり」 岩佐亮太教諭

3年「よいと思ったことは」A(1)

「よわむし太郎」 大西優香教諭

4年「さまざまな思いやり」B(6)

「思いやりのかたち」 木暮美咲教諭

5年「自分らしさを知る」A(4)

「『自分らしさ』を見つめよう」

佐藤淳哉教諭

6年「働く喜び」C(14)

「『働く』ってどういうこと？」

市嶋広恵教諭



伊達市立伊達中学校

1年「法やきまりについて考える」C(10)

「仏の銀蔵」 中谷亮太教諭

2年「異文化理解と世界の平和」C(18)

「むこう岸には」 川村浩嗣教諭

3年「『違い』の違いを考えよう」C(11)

「ぼくの物語 あなたの物語」「深めたいむ」 阿部拓実教諭

伊達市立大滝徳舜警学校(義務教育学校)

8年「自分の『よさ』を見つめる」A(3)

「優しさの光線」 田中伸幸教諭

9年「家族・家庭生活とは」C(14)

「家族って?家庭って?」石澤宣幸教諭

<分科会>

第1分科会 道德教育の指導計画と評価

「全教員で取り組む道德教育の推進を目指して」新ひだか町立高静小学校 高橋和幹教諭
「PDCAサイクルを意識した道德教育の指導計画と評価」

札幌市立上野幌中学校 真壁佑輔教諭

第2分科会 道德科の指導と評価

「主体的に学び合う子どもを育てる道德科の指導計画と評価について」

札幌市立幌南小学校 堀崎将大教諭

「道徳科における指導と評価、基本的な考え方とその実践」

函館市立亀田中学校 川合園子教諭
第3分科会 道徳科と他の教育活動との関連

「『子供が学びをつくる』道徳教育」

北海道教育大学附属函館小学校
上田知沙都教諭
「野付学で学ぶ郷土の夢～幼少中一貫ふるさとキャリア教育～を通して」

別海町立野付中学校 野田智明教諭
第4分科会

道徳科における教材の選択と活用

「実践から見た6つの選択・活用方法」

帯広市立緑丘小学校 竹内允人教諭
「夢と志をもち、可能性に挑戦する生徒の育成」 奈井江町立奈井江中学校 西藤秀美教諭

第5分科会

今日的な課題、地域性等を生かした道徳教育

「地域素材を活用した自作教材による道徳家授業実践」 仁木町立仁木小学校 阪本智教諭
「SNSを使った社会参画」を扱った授業実践
旭川市立東光中学校 虻川 謙教諭
「日本と近隣諸国の平和を扱った授業実践」

旭川市立桜岡中学校 福岡伸康教諭

<講演>

講師：秋田公立美術大学副学長 毛内嘉威氏
演題「心に響く授業と指導と評価の一体化」



主体的な学びをサポートする伴奏者としての役割や、発達段階や地域特性を踏まえた学びについて、我々が期待して子どもたちと関わることの重要性、個別最適な学びがまさに主体的な学びであること、多様な価値観を前提として授業構築の大切さについてお話されました。「道徳的価値に向き合い、教材で考えさせ、認め合い、磨き合いながら議論する

道徳科の授業」を実現するための多くのご示唆をいただきました。

全中道研顧問（第24代会長）木村俊二 様からのメッセージ

コロナ禍の中で会の運営はさぞご苦労が多いことと思います。吉田会長をはじめ役員の皆様のご努力に心から敬意を表しています。

さてこの間、理事会をはじめ全中道研にはすっかりご無沙汰をしており、大変申し訳ありません。中学校の学習指導要領も全面実施となり、「新しい教科 道徳」もすっかり定着してきたように思います。私の勤務する市の各学校でも、今さかんにタブレットを活用した授業が展開され、まさに生徒一人一人が主体的に参加する「考え議論する道徳」が行われています。タブレットを活用することでこれまで発言することが苦手だった生徒も自分の想いや考えを積極的に発信することができています。この秋に開催される沖縄での全国大会や関ブロ大会でも素晴らしい実践が発表されるものと大いに期待しています。

「会報No.1」の中で吉田会長が述べられていますが、このコロナ禍の中で改めて「人間としていかに生きるべきか」ということがわれわれ大人も含め問われていると思います。道徳の授業においては、そのことを生徒と共に語り合いながら、共に学び合っていきたいものです。これからも学校を支援することで私のつとめを果たしていきたいと思います。全中道研の益々のご発展と役員をはじめ関係者の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

令和3年度 役員・理事会（第3回）

日時 令和4年2月26日(土)

場所 上廣倫理財団UFホール

東京都千代田区3番町6-3

関中道研役員・理事会	11:15～12:00
全中道研副会長会	13:00～13:30
全中道研役員・理事会	13:30～15:30

オンラインでの参加も可能

※ 状況によってはオンラインのみの開催